



社会的課題に関心を持とう!

都立江戸川高校で出前授業を実施しました



齋藤氏 (脱炭素社会づくり委員会)

倉内氏 (いきいき楽校)

及川氏 (らいおんはーと)

令和5年11月8、15日の2日間、都立江戸川高校で2年生の「総合的な探求の時間」をつかい、社会の課題に対して関心を持つことを目的に出前授業を行いました。

授業内容は、脱炭素社会づくり (家庭での省エネ)、資源循環社会づくり (食品ロス、子ども食堂)、自然環境の保全 (ラムサール条約、交流連携、ワイズユース) の3分野。エコセンターの齋藤智子氏、池田進氏、倉内皓子氏と、会員団体である生態教育センターの吉田祐一氏、らいおんはーとの及川信之氏、荒川クリーンエイド・フォーラムの山地佳奈氏、赤城稔氏に、それぞれの専門分野のお話をいただきました。

のべ200名の生徒の皆さんが、各分野のクラスに分かれ、熱心に耳を傾けていました。

みんな真剣に興味をもってくれました!



会員向け日帰りバス研修会を実施しました



首都圏外郭放水路

令和6年1月20日(土)、えどがわエコセンターの会員向け日帰りバス研修会を実施。26名が、首都圏外郭放水路と鉄道博物館を見学してきました。

首都圏外郭放水路では、長さ177m、幅78m、高さ18mに及ぶ巨大な調圧水槽を見学し、温暖化や災害対策について学びました。



鉄道博物館

鉄道博物館では、広大な空間に36両の実物車両が展示されている車両ステーションや大機関車、鉄道の歴史を知ることのできる展示など、見所が満載でした。

寄付のお願い



皆さまからのご寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。

認定NPO法人 共育・協働の環境づくり

編集・発行 **えどがわエコセンター**

住所: 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階

TEL: 03-5659-1651 FAX: 03-5659-1677

E-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

URL: https://edogawa-ecocenter.jp/

Facebook: https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter

開館時間: 9:00 ~ 17:30 定休日: 日曜・祝日



※機種によっては読み取りづらい場合があります



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.61

March 2024

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel (情報を送る) 2004年7月創刊

みんなで取り組もう! 3R



世界中で環境問題に関するさまざまな取り組みが推進されていますが、中でもキーワードになるのが「循環型社会」です。自分事として考え、一緒に行動しましょう!



循環型社会の実現に不可欠な

3R



3Rとは、Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の頭文字を取ったものです。

①Reduce (リデュース)

ごみの発生を減らす

- マイバッグで買い物をする
- 食品を買いすぎないようにする

3Rの中で最も重要!



②Reuse (リユース)

繰り返し使う

- 使わなくなったものを必要な人にゆずる
- リサイクルショップやフリーマーケットを利用する

③Recycle (リサイクル)

資源として再利用する

- ごみを分別する
- 古着・古布回収を利用する



また、「3R + Renewable」という考え方も近年重要になっています。

●Renewable (リニューアブル)

再生可能な資源に替える

- プラスチック製のレジ袋を※バイオマスプラスチック製に替える

※植物などの再生可能な有機資源を原料とするプラスチック

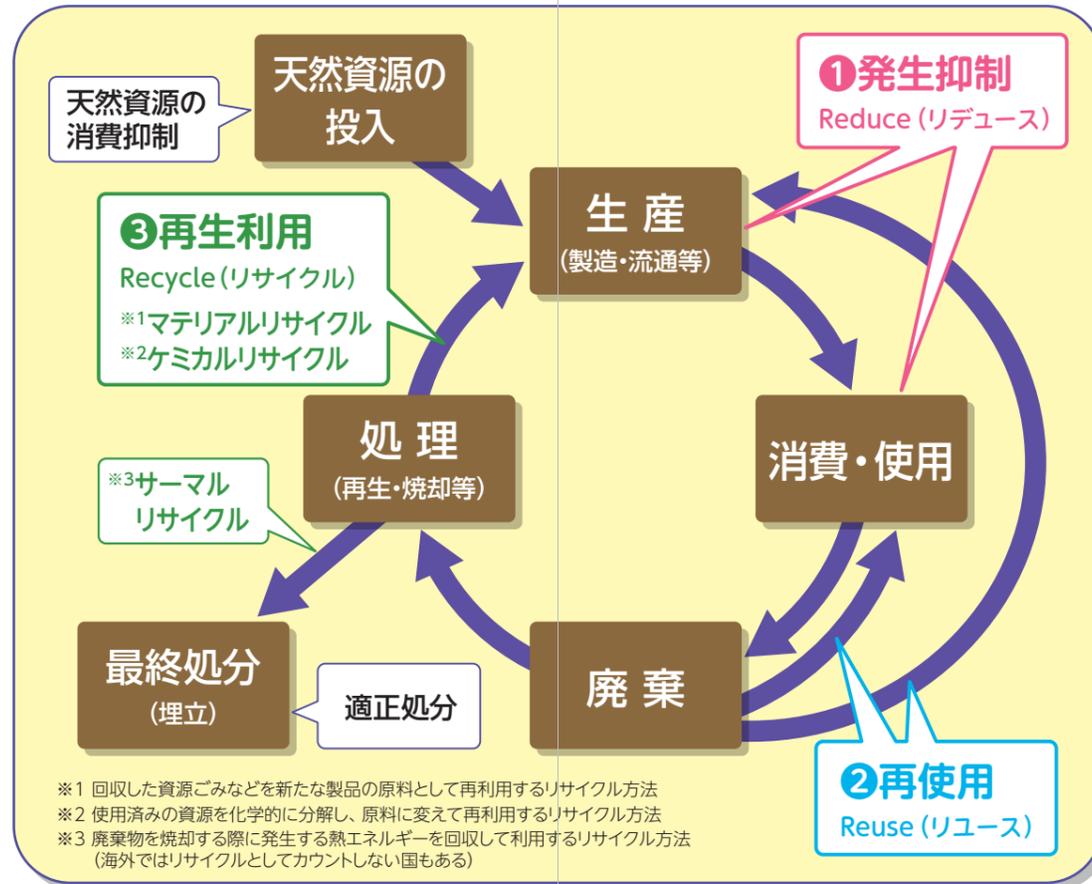


限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会を築こう!



循環型社会

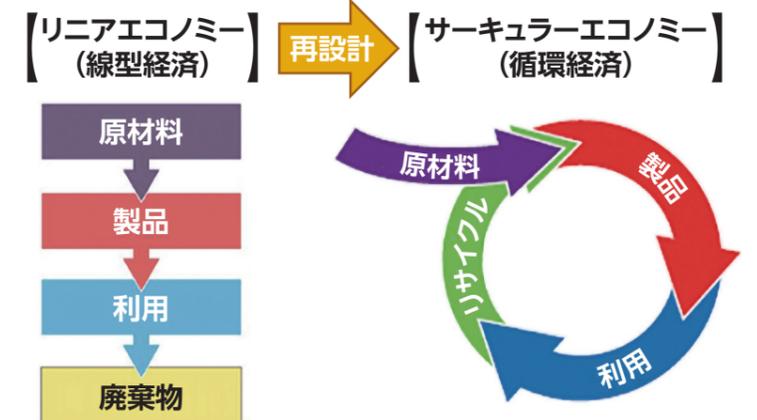
循環型社会とは、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から脱却し、資源を再利用・再生することで循環させ、環境への負荷が低減された社会のことです。



今注目されているサーキュラーエコノミーとは

サーキュラーエコノミーとは、日本語で「循環経済」と訳されます。従来の一般的な経済システムである、大量生産・大量消費・大量廃棄のリニアエコノミー（線型経済）では、天然資源の枯渇、生物多様性の破壊など、様々な環境問題を引き起こしてきました。サーキュラーエコノミーは、従来の3Rの取り組みに加え、資源投入量や消費量を抑制することで、資源の価値を最大限に生かす経済システムです。

気候変動対策・生物多様性の保全と並んで、サーキュラーエコノミーへの移行が強化すべき取り組みとして位置づけられています。



出典：環境省「令和3年版 環境・循環社会・生物多様性白書」を加工して作成

※プラスチック資源循環促進法

製品の設計から廃棄物の処理までに関わる全てのプロセスで、プラスチック資源の循環を促進するための法律です。サーキュラーエコノミーの考えに基づいて、2022年4月に施行されました。

基本方針として、排出抑制・再資源化への環境配慮設計、ワンウェイプラスチック使用の合理化、分別回収・自主回収・再資源化等があります。

※正式名称 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」

えどがわエコセンター 3R の取り組み

ホームページや広報でお知らせしています。

ぜひ一緒に!

①Reduce (リデュース)



●おもちゃの病院

毎月第2土曜日に開催!
※祝日の場合は除く

不要になった古布を使って作ります



●長座布団づくり講習会



●布ぞうりづくり講習会

②Reuse (リユース)



●フードドライブ

食品ロスの削減に向けエコセンターにて常設回収実施中!

③Recycle (リサイクル)



●発泡スチロール箱を使った生ごみ堆肥づくり講習会

簡単に家庭でできる堆肥づくり!